

Q 5歳と3歳になる男の子がいます。長男がよく嘘をつくので困っています。例えば、きょうだいけんかで弟を泣かせてしまったとき、「何もしていないのに泣いた」と言ったり、手を洗っていないのに「洗った」と言ったり…。毎日のように嘘を言います。嘘はだめだと日頃から伝えていますが、どうすればいいのでしょうか？

A 「子供は正直」とよく言われますが、子供も嘘はつきます。嘘をつくのは、本当のことを言ったら怒られるときです。例えば、「10円落とした」と正直に言っただけでなく、吐られた子供は、次に落とすときには「落としていない」と嘘をつくことが多くなります。本当のことを言っただけでなく、吐られたからです。

散歩中に、「寒い」と本当のことを言っただけで、「どっして上着を着なかったの！」などと吐られた子供は、寒くても「寒くない」と言うようになるかもしれません。心当たりはないでしょうか？

長男は、おそろしく人一倍自尊心が強く、人から何かを言われるのを嫌うタイプだと思えます。「手を洗っていないのがバレたら叱られる」「弟が泣いたらまた怒られる」などと、毎日そんなことばかり考えているのかもしれない。



原坂一郎の

子育て相談

小さな嘘をよくつく

倍自尊心が強く、人から何かを言われるのを嫌うタイプだと思えます。「手を洗っていないのがバレたら叱られる」「弟が泣いたらまた怒られる」などと、毎日そんなことばかり考えているのかもしれない。

本当のことを言っても否定されない、少女ミスがあっても叱られない、ということが分かれば、嘘をつく必要がなくなり、子供が本来持っている「正直さ」が顔を出してきます。

これからお子さんが本当のことを言ったときは、まずは「よくぞ言ってくれた」という歓迎ムードを前面に出してから、「でもね…」と諭すように嘘はだめだと教えてください。

手を洗っていないなど、困った行動が見られたときもすぐに叱らず、「見ちゃった、見ちゃった！」と言うなど、そこに笑いが生じるような注意の仕方をしてみてください。

お子さんは安心して本当のことを言うようになり、嘘も減っていくと思いますよ。

(こどもコンサルタント)